

# この本の特色と使い方



この教材は、夏休み中に、前期に学習した内容を、漢字と言語事項を中心に復習するためにつくられたものです。

中学受験に必要な読解力の基礎になる「言葉の知識」を、毎日の学習で着実に身につけられるように構成しました。

**今日の漢字**……漢字の読み書きの問題です。

**ポイント**……各課の学習内容について、考え方を整理する問題です。「ガイド」のコーナーを参考にしながら解いてみましょう。

**トレーニング**……「ポイント」で確認した内容を使って、演習問題を解いてみましょう。

**ブレイクタイム**……各課の学習内容を応用した、パズル形式の問題です。

**ガイド**……各課の学習内容の基本事項や、考え方を分かりやすく説明しています。

**言葉の学習**……設問中に出てきた、分かりにくい言葉や、注意が必要な言葉の意味を載せました。

# もくじ

◆言語事項編	1	かなづかい	2
2	送りがな	4	
3	国語辞典・漢和辞典	6	
4	漢字の成り立ち	8	
5	漢字の音訓	10	
6	漢字の部首	12	
7	漢字の画数	14	
8	漢字の筆順	16	
9	主語と述語	18	
10	修飾語	20	
11	同訓異字	22	
12	同音異字・同音異義語	24	
13	熟語の組み立て	26	
14	三字の熟語	28	
15	四字の熟語	30	
16	類義語	32	
17	対義語	34	
18	和語・漢語・外来語	36	
19	ことわざ	38	
20	慣用句	40	
◆読解基礎編			
21	指示語	42	
22	接続語	44	
23	場面・時・人	46	
24	文の役割	48	
25	詩	50	
◆総合編			
26	総合(1) 言語事項の復習	52	
27	総合(2) 言語事項の復習	54	
28	総合(3) 読解の復習	56	
29	総合(4) 読解の復習	58	
30	総合(5) 言語事項・読解の復習	60	
◆巻末			
言葉を増やそう	62		

1

かなづかい

今日の漢字

☆ 次の——線の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく書きなさい。

- (1) 茶わんが欠ける。
- (2) 井の中のかわず大海を知らず。
- (3) 参加者各氏にお伝えする。
- (4) 不運な結果になる。
- (5) 悪いところをなおす。
- (6) トラックで荷物を運ぶ。
- (7) 佐賀県でとれたいちご。
- (8) 屋上から周囲を見る。
- (9) ジョウカマチを散策する。
- (10) サイタマ県の観光地。
- (11) 日本リヨウリを食べる。
- (12) シオアジのついた食べ物。
- (13) 大学の病院のおいシャさん。
- (14) エキからの道のり。
- (15) セカイ一周の船旅。
- (16) そろばんイッキユウの腕前だ。
- (17) ヤッキョクでマスクを買う。
- (18) 本を読んだカンソウを書く。
- (19) ジドウシャを運転する。
- (20) 新しい機械をハツメイする。

★ ニつの□に共通してあてはまるひらがなを、上のらのひらがなから選び、「」に書き入れなさい。

「ず」と「づ」		「じ」と「ぢ」		「お」と「う」		「は」・「へ」・「を」		
(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
へ	へ	へ	へ	へ	へ	へ	へ	へ
ち□。	かん□め。	はな□。	お□ぞうさま。	かきご□り。	おと□さん。	ぼく□四年生だ。	本屋□行く。	作文□書く。
だい□。	こ□つみ。	ち□む。	□めん。	大ど□り。	そ□じ。	こんにち□。	海□出かける。	歯□みがく。

ポイント

★ ガイド

☆ かなづかいのきまり  
発音とおりを書くのが原則だが、例外もある。

① 「何は・何へ・何を」

の「は・へ・を」は、発音は「ワ・エ・オ」だが、「わ・え・お」と書かない。

② 才段の音をのばす場合は「う」と書くが、「お」と書く場合もある。

・「お」と書く場合  
おおかみ

・「う」と書く場合  
おおい (大きい)

おとうさん (お父さん)

こうえん (公園)

③ 「ジ・ズ」と発音するものは、ふつう「じ・ず」と書くが、次の場合は「ぢ・づ」と書く。

・二つの語が合わさる場合  
合

はなぢ (鼻+血)

・音が重なる場合

ちぢむ つづく

# トレーニング

『 次のうち、かなづかいの正しいほうを選び、○をつけなさい。』

- (1)   こんにちは  
  こんにちは
- (2)  朝、顔   お  
  を   お
- (3)  わたし   わ  
  は   わ
- (4)  くぎ   お  
  を   お
- (5)  池の水が   こ  
  ころ   こ
- (6)  空に   み  
  か   づ
- (7)  セーターが   ち  
  ぢ   ぢ

② 次の——線の漢字の読みがなをかなづかいに注意して、ひらがなで書きなさい。

- (1)  と なりの国の王子。
- (2)  弟と遊びに行く。
- (3)  大通りを歩いて行く。
- (4)  図表を出して解説する。
- (5)  遠くまで出かける。
- (6)  力強い調子で話す。
- (7)  公共の広場をつくる。
- (8)  地面をほりおこす。
- (9)  手近な品物ですます。
- (10)  東京へ遊びに行く。
- (11)  近所で火事があった。
- (12)  今日は四月十日だ。
- (13)  水着を用意する。
- (14)  鼻血が止まらない。

③ 次の文中には、かなづかいがまちがっている部分それぞれ一か所あります。まちがっているかなの右側に——線を引き、正しいかなを「」に書きなさい。

- (1)  スーパーへ行って、かんずめを買った。
- (2)  みじかいひもを一本つつ用意する。
- (3)  ずっと小さな声で話すので聞きづらい。
- (4)  いもうとは、いたづらばかりする。

## 言葉の学習

- 『今日の漢字』
- (2) ことわざで、「せまい知識にとらわれて、広い世界を知らないこと」という意味。「かわず」は「カエル」のこと。
  - (4) 「不」という漢字は、ある漢字の上について「ふない」という意味を表す。
  - 「不休」＝休まないこと。
  - 「不正」＝正しくないこと。
  - 「不運」の反対の意味の言葉は「幸運」。

漢字を練習するときには同じ意味や似た意味の言葉(類義語)、反対の意味の言葉(対義語)もあわせて覚えましょう。

